

## 新型コロナウイルス感染症の軽症者のための 宿泊療養施設について

### 1. 新型コロナウイルスの感染状況

県内感染者数 136 名 (4/17 現在)

【内訳：軽症・中等症 113 名、重症 5 名、退院 16 名、死亡 2 名】

※軽症の方や無症状の方も入院されており、このままでは入院による加療が必要な重症者や、重症化リスクが高い方の病床確保が難しくなります。

⇒ そこで国の方針として、都道府県が宿泊施設を確保し、軽症者等には当該宿泊施設で療養いただくこととなりました。

### 2. 宿泊療養施設の概要

厚生労働省が示す主な要件は以下のとおりです。

- 居室は原則バス・トイレ付きの個室
- 一棟又はフロア単位で確保
- 保健師又は看護師が日中は常駐
- 医師はオンコール対応

#### ○どのような人を受け入れるのか？

無症状の方や軽症の方で、

- ① 高齢者 ② 基礎疾患がある方
- ② 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方 ④ 妊産婦

を除き、医師が入院の必要がないと判断した方です。

### ○入居者はいつまで滞在するのか？

病院の退院基準と同じで、『2回連続でPCR検査での陰性が確認された場合』に帰宅可能となります。

### ○施設内ではどういった感染防止対策を講じているのか？

入居者は原則、割り振られた個室のみで生活します。

家族等から差し入れは宅配に限定し、面会は出来ません。

専門家の指導のもと、スタッフ動線を考慮し、施設内を「レッドゾーン」及び「グリーンゾーン」に明確に区分けして運営します。

### ○施設外に感染が広がることはないのか？

新型コロナウイルスは「飛沫感染」「接触感染」のみであり、「空気感染」  
することはありません。

入所時に公共交通機関や自家用車を使って来ることはありません。

入居者と地域の皆様とが接触する場面はありません。

ゴミ類は全て「感染性廃棄物」扱いとして専門業者が処分します。

生活支援スタッフ（弁当配布、ゴミ回収）が入居者と対面する場面はなく、保健医療スタッフ（看護師）も対面機会は最小限となっています。

### ○受入れはいつ頃終わるのか？ 施設はどうなるのか？

当面、3ヵ月程度を予定し、状況により延長する場合も想定されます。

宿泊療養施設としての役割を終えた後は、施設内を清浄化し、元どおり営業いただきます。

宿泊療養施設について、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

**【お問い合わせ】** 岐阜県 新型コロナウイルス感染症対策チーム 後方施設確保班  
TEL：058-278-3568（直通）